

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	信英蓄電器箔株式会社					
代表者名	氏名	井澤 紳	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上伊那郡南箕輪村 3 9 3 0 番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 9 電気機械器具製造業				
主たる事業の概要	(1) 蓄電器電極箔の製造販売 (2) 使用済溶液から有効成分を回収する技術の開発とこれから得られた各種金属（アルミ、銅等）酸化物（アルミナ、酸化銅等）水酸化物（水酸化アルミ、水酸化銅等）塩類（硫酸塩、硝酸塩等）の販売。 (3) 上記に附帯する一切の事業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	29,333	32,636	36,516	47,488	30,414
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	53,913	59,719	67,121	87,301	55,896
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	0
自動車の台数	台	9		9	9	9
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	9				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

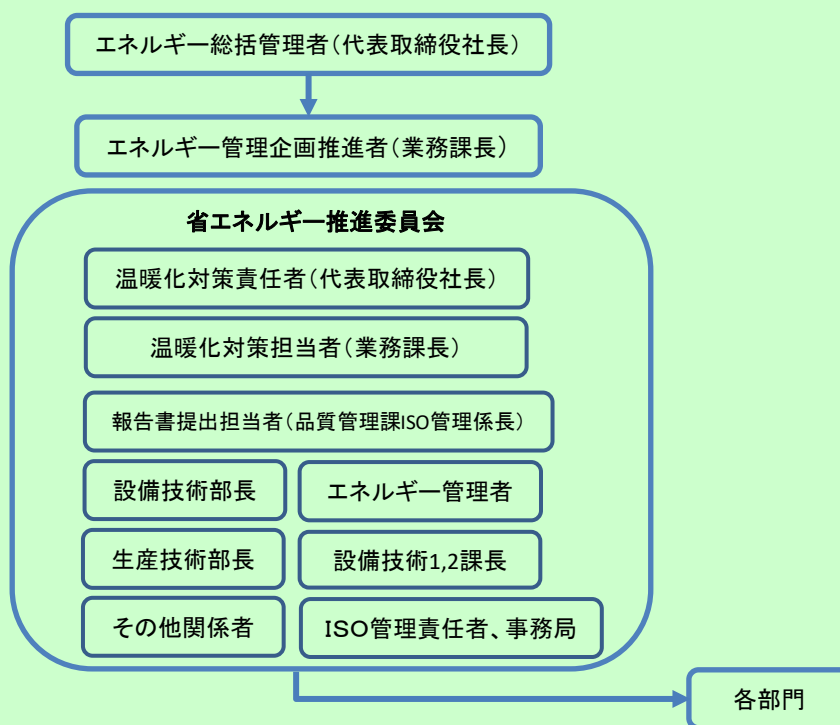
<input type="checkbox"/>	ホームページ	弊社、品質管理課 I S O 管理係にて閲覧戴く事ができます。 閲覧可能時間は9:00～16:00 連絡先：0265 (78) 2193
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

当社は、信州の澄んだ空気と水、豊かな緑を後世に継承する事で環境保全に貢献し「持続可能な社会の実現」を目指して、「法令遵守」はもとより世界的な環境課題である「地球温暖化防止」に向け「カーボンニュートラル」の実現に積極的に取り組みます。(当社環境方針)

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

「省エネルギー推進委員会」を中心とした組織体制で温室効果ガス排出抑制施策を推進しております。将来的にテーマとして“排出量取引”などの施策を考慮する事態となった場合には、各部門の長もメンバーに加えた「温室効果ガス排出抑制委員会」に移行したいと考えます。



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

“省エネルギー推進委員会”を年2回の頻度で開催します。

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	53,913	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	287.40	単位	MFV
2019年度	調整後排出量	53,913	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	187.59	t-CO <sub>2</sub> /	MFV
目標年度	目標排出量	59,719	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	181.96	t-CO <sub>2</sub> /	MFV
2022年度	目標削減率	-10.77	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	基準年の2019年度の生産量は、米中貿易摩擦、市場低迷の影響を受けて生産量が大幅に減少した。2022年度は14.2%の生産量アップを見込んでいる事から排出総量の削減は難しいと判断し、原単位での削減を3%減とし、活動する。						
第一年度	排出量	67,121	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	373.50	単位	MFV
	削減率	-24.50	%	原単位	179.71	t-CO <sub>2</sub> /	MFV
2020年度	調整後排出量	67,121	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	4.20	%	
	削減率	-24.50	%				
排出量等の増減理由	二酸化炭素排出量は基準年比24.5(%)増となった。生産数量は、基準年度に比べ30(%)増加し、原単位ベースでは目標である3.00(%)減を上回る4.20(%)減となった。基準年度よりも生産数量が大幅に上回った事による。						
第二年度	排出量	87,301	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	492.83	単位	MFV
	削減率	-61.93	%	原単位	177.14	t-CO <sub>2</sub> /	MFV
2021年度	調整後排出量	87,301	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	5.57	%	
	削減率	-61.93	%				
排出量等の増減理由	二酸化炭素排出量は基準年比61.9(%)増となった。生産数量は、基準年度に比べ70(%)増加し、原単位ベースでは目標である3.00(%)減を上回る5.57(%)減となった。省エネ等による設備の効率アップと基準年度よりも生産数量が大幅に上回った事による。						
第三年度	排出量	55,896	t-CO <sub>2</sub>	生産数量	301.50	単位	MFV
	削減率	-3.68	t-CO <sub>2</sub>	原単位	185.39	t-CO <sub>2</sub> /	MFV
2022年度	調整後排出量	55,896	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	1.17	%	
	削減率	-3.68	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	二酸化炭素排出量は基準年比3.68(%)増となった。原単位ベースでは3(%)減目標に対して1.17(%)減に留まった。下半期に急激に生産量が減少し、エネルギー効率が悪化したことが原因である。						

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	9	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380752	照明器具のLED照明への更新	2020～ 2022	15.72	2020～ 2022	41.65
2	エネ起	360701	ポンプインバータ化	2020～ 2022	74.91	2020～ 2022	262.19
3	エネ起	350699	変圧器の更新	2020	9.69	2020	12.05
4	エネ起	その他	PSAエコモード	2020～ 2021	18.86	2020	15.72
5	エネ起	310500	熱交換枚数の変更	2020～ 2021	3.14	2020	4.19
6	エネ起	310500	製造設備効率アップ(追加)			2020～ 2022	25.88
7	エネ起	310500	凍結防止停止(追加)			2020～ 2021	44.79
8	エネ起	320403	ボイラードレン給水熱交設置 (追加)			2020～ 2021	12.57
9	エネ起	360702	ダンパーの開閉による風量の低 減(追加)			2021～ 2022	142.49
10	エネ起	360701	冷水ポンプの運転管理 (ON, OFF)(追加)			2021	28.55

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電(屋根貸し)	(kW)	950	0	950	950	950

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	53,913	1	67,121	1	87,301	1	55,896
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	53,913	1	67,121	1	87,301	1	55,896

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	3	3	3	3
合計	3	3	3	3
自動車総数	9	9	9	9
次世代車導入割合	33.3	33.3	33.3	33.3

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし。
自転車の利用促進	なし。
来客者の交通対策	ホームページに来社方法、地図を表示。
物流の合理化	積荷の満載化、関係工場間のトラック効率活用による、総台数削減。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		2000年
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	全国的にエネルギー使用量が最大となる7月に、工場の操業を調整(停止)することで、ピークカット政策に協力しています。		2018年～

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季節電プログラムへの参加 (2022年)</li> <li>・全社でのエネルギー合理化プロジェクトの活動</li> <li>・会社周辺のゴミ拾いの実施</li> <li>・会社及び労働組合協賛によるフードドライブへの食糧提供 (家庭での廃棄物の低減に寄与)</li> <li>・構内一斉美化 (緑地管理) 活動の実施</li> </ul>
--